

「Hamman 症候群合併 DKA 患者の臨床特性に関する症例対照研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2009 年から 2017 年 4 月までに当院に糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) の診断にて入院された方

2. 研究の目的

Hamman 症候群とは、特に直接的な外傷や食道破裂などの原因を伴わずに発症する縦隔機種 (特発性縦隔機種) のことで、さまざまな疾患、病態に合併することが報告されています。特に、糖尿病性ケトアシドーシスに合併することがこれまで報告されています。しかし、現時点で、どのような患者さんに合併しやすいのか、ということは明らかになっていません。

本研究では、Hamman 症候群を発症した糖尿病性ケトアシドーシスの患者様と、発症していない患者様の背景を比較することで、どのような方が Hamman 症候群を発症しやすいのかを明らかにすることを目的としています。

3. 研究の方法

糖尿病性ケトアシドーシスの診断で入院された方の患者背景、検査結果を収集し、データベースを構築します。

これまでに文献上に発表された Hamman 症候群合併糖尿病性ケトアシドーシスの症例についても同様にデータベースを構築し、両者を比較検討します。

4. 研究に用いる情報の種類

登録時に収集するデータ項目は年齢、性別、身長、体重、糖尿病の病型、糖尿病性ケトアシドーシスの発症要因 (怠薬の有無、ペットボトル症候群の有無)、喫煙歴、縦隔気腫消失までの日数、発症時の血圧・脈拍数、呼吸数、発症時血糖値、HbA1c、血液ガス所見 (pH、pCO₂、HCO₃⁻、BE) です。

5. 外部への情報の提供

研究成果は学会や医学雑誌等で論文化をします。登録された患者様データは個人を特定できないよう匿名化を行い、院内における外部回線と不接続のパソコンにて厳重に管理されます。調査研究以外の目的には使用されることはありません。

6. 研究組織

済生会横浜市南部病院 糖尿病内分泌内科

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：済生会横浜市南部病院 糖尿病内分泌内科 長田潤

045-832-1111 FAX 045-831-0833